

JA全農えひめ情報 みみりんど

■特集

レインボーフェスティバル in えひめ2013

■JA直売所めぐり

総集編 ～東予I～

11

2013・November





「伊予美人」 PRイベント (松前町)



JA愛媛野菜生産者組織協議会（事務局・JA全農えひめ）とJAうまは、10月6日(日)、伊予郡松前町のエミフルMASAKIで、出荷が本番を迎えた愛媛の里芋ブランド「伊予美人」をPRしようと、大鍋に里芋「伊予美人」のほか、鶏モモ肉・にんじん・ごぼう・しめじ・ねぎを加えて作成した「芋炊き」約400食分を無料配布しました。

芋炊きコーナーは、11時の開始前から、大勢の家族連れなどが長い列を作り大盛況でした。さっそく食べた方は「柔らかくて美味しい」と笑顔をみせ、愛媛の秋の風物詩「芋炊き」に大満足の様子でした。用意した約400食の「芋炊き」は約1時間で終了しました。

5年目を迎えた今回のイベントも毎年継続してきたことで、開始前から行列を作る方も年々増えています。JAうまなどは、愛媛の郷土料理で秋の風物詩でもある「芋炊き」を通じたPR活動を続け、「伊予美人」ブランドの定着に取り組んでいます。

めぐり〜ど

November 2013

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



一段と布団の温もりが恋しい朝。「早く起きなさいっ!」。何度目かのおかあさんの声に、やっと身支度を整え、学校へ。ついこの間まで暑かったのがウソのよう。吐く息は白く、朝の光に透ける紅葉は色鮮やかに、白菜畑は初霜がキラキラ。いいお天気になりそうですね。今日も一日、元気にがんばっていきましょう。

●表紙：初霜
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.155

「伊予美人」PRイベント (松前町)

2

〈特集〉

生産者と消費者を結ぶ交流イベント レインボーフェスティバル in えひめ2013

5

『ふれ愛・媛ポーク』をPRする若手生産者集団
「ひめとんボーイズ」がデビュー!

6

THE・ねっとわーく

7

統計BOX

8

ふるさと ESSAY VOL.223

ワクワクドキドキ第二の人生Ⅲ

河上 たずみさん

10

TOPIC NEWS

13

なんでもBOX

14

J Aふるさと自慢Vol.155「直売所めぐり」

〈総集編 東予1〉

～JAうま・JA新居浜市・JA西条・JA東予園芸～

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉鶏卵

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)
<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

生産者と消費者を結ぶ交流イベント

レインボーフェスティバル

in えひめ2013



J A全農えひめとグループ会社は、11月2日(土)、松山市大可賀のアイテムえひめで、「レインボーフェスティバル in えひめ2013」を開きました。会場は約2万人の人出で賑わいました。

このイベントは「生産者と消費者を結ぶ懸け橋」として、J A全農えひめとグループ会社が毎年実施している県内J Aグループの一大イベントで、今回が21回目となりました。

会場には、J A全農えひめ、グループ会社のほか、県内J A・生産者組織など約40の団体・組織から旬の青果物や農産加工品など地域特産品が勢ぞろい。各ブースでは、試食や袋詰め放題など趣向を凝らしながら即売し、旬の味覚を買い求める人で賑わいました。

おにぎりやうどん、ホットケーキやマヨネーズづくり、餅つき、トラクターの試乗、寄せ植え、ミカンの皮を使ったアートづくりなど子どもたちを対象にした体験コーナー、パネル展示などを通じて「食と農の大切さ」をアピールしました。

特設ステージでは、「オレンジロードスタートイベント」、「ひめとんボリーズデビュー&豚肉セリ」、「ゆるキャラと遊んで賞品ゲット!」、「獣電戦隊キョウリュウジャーショー」等を開催しました。

「オレンジロードスタートイベント」には、J A全農えひめの諏訪玄県本部長と愛媛みかん大使が参加。みかん大使によるちびっ子対象のク

笑顔がいっぱい



▲みかんの皮アート



▲自分で握ったおにぎりは最高！



▲肉はやっぱり愛媛産



▲ホットケーキできたよ



▲愛車のトラクターに乗って…



▲みかんの皮を使ったアート
できました



▲先着500人のちびっ子にプレゼント

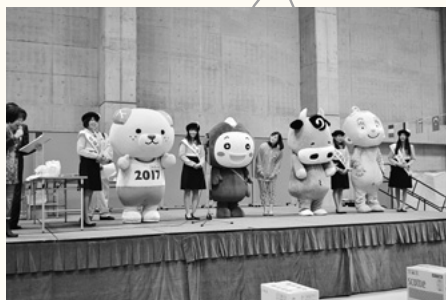


▲卵の袋詰め放題

ステージイベント



▲オレンジロードスタートイベント



▲みきやんとJ.A松山市のまる芽ちゃん、ひめ丸、
オレンジエルが参加して交流

イズも行いながら、11月3日「みかんの日」から、4月14日「オレンジデー」まで実施する「オレンジロード」の取組みをPRしました。

『ふれ愛・媛ポーク』をPRする若手生産者集団「ひめとんボーイズ」デビューイベントには、フラダンスチームも応援に駆け付け、ダンスや歌のパフォーマンスで賑わいました。

畜産フェアでは、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の試食などを通じて、愛媛ブランド肉の消費拡大を呼びかけました。

NHK「ふるさとの食」に「ぽんの食」愛媛県フェスティバルとして実施した、食べ物紙芝居&バルーン等のイベントも人気を集めました。

なお、役職員が持ち寄った品物の「チャリティバザー」と「豚肉セリ」を通じて集まった11万8,440円は、全農全国統一活動として「NHK東日本大震災義援金」に全額寄付いたします。

多くのJ.A.団体のご協力により、今年もイベントを盛大に開催し、地域の皆様に「豊かな食文化の創造」「愛媛農業への理解促進」を図ることができました。ありがとうございました。

JA・団体コーナーには愛媛の特産品が集結！ ～旬の味を届けました。



▲JA うまは里芋関連商品を販売



▲JA えひめ中央は小田・中山地区特産品を販売



▲JA えひめ南の米粉パン



▲JA にしうなどのみかん袋詰めは大盛況



▲JA ひがしわれんげ市場



▲JA 今治立花は人気のレンコン！



▲JA 愛媛たいきは旬の柿が人気



▲JA 周桑は味噌汁試食を交えて味噌の販売



▲椎茸同志会は恒例の乾椎茸すくいどりと試食販売



▲JA 越智今治は豚肉串焼き

体験コーナーで楽しむ！



▲ボンジュース蛇口は長蛇の列



▲教わりながら餅づくり体験



▲ガスコーナーでは卵焼き体験

『ふれ愛・媛ポーク』をPRする若手生産者集団

『ひめとんボーイズ』が デビュー！



『ふれ愛・媛ポーク』は、JA全農えひめが認定した農場（15農場）で生産～販売までをトータル管理した愛媛県産豚肉ブランドです。

この『ふれ愛・媛ポーク』のブランド認知度向上に向けて、生産者自らが各種メディアや店頭における消費宣伝活動などの販促PR活動で一役買おうと、『ふれ愛・媛ポーク』をPRする若手生産者グループ「ひめとんボーイズ」を結成し、11月2日、松山市のアイテムえひめで開催した「レインボーフェスティバル in えひめ2013」の会場で、お披露目（デビュー）イベントを行いました。

「ひめとんボーイズ」は、『ふれ愛・媛ポーク』の認定6農場（今治市・大洲市・八幡浜市・鬼北町）で働く、21歳から31歳までの後継者を中心とした8人がメンバー。リーダーは、酒井庸裕さん（26歳・酒井ビッグファーム）で、名前はブランドイメージキャラクターの「ひめとん」にちなんで名づけました。

デビューイベントでは、お揃いのユニフォームを着たメンバーが登場。メンバー紹介、リーダーの酒井さんが『ふれ愛・媛ポーク』が皆さんに愛されるようPRしていきたい」と抱負を話した後、応援に駆けつけたフラガールズと踊りを披露し、最後に「ひめとんボーイズ」のイメージソング「桃色の花へ」



を全員で合唱しました。

「桃色の花へ」は、「ひめとんボーイズ」＆「とんきゅう」（JAグループの畜産関係の業務に従事する豚を愛する女性）が、作詞・作曲したオリジナルソング。豚に愛情を注ぐ生産者をイメージした作品になっています。

「ひめとんボーイズ」は、今後、店頭試食宣伝活動や販促イベント、テレビやラジオ出演などを通じて、『ふれ愛・媛ポーク』をPRしていきます。これからも、「ひめとんボーイズ」への応援をよろしくお願いします。

THE

ねとろわーく

「10月、クミアイ配置家庭薬事業を 協同薬品工業(株)に事業移管しました。」

生活 資材課

J A全農えひめは、
10月から、「クミアイ
配置家庭薬事業」を、
クミアイ家庭薬の製造
元である協同薬品工業(株)に事業移管
しました。

協同薬品工業(株) (本社・山形県長
井市) は、J Aグループの一員とし
て組合員の健康管理活動に貢献する
ため、クミアイ配置家庭薬の製造・
販売事業を行っている会社です。
10月1日からは、協同薬品工業(株)



▲握手する横澤社長(左)と諏訪県本部長



愛媛営業所が、県内のクミアイ家庭
薬事業とともに配置員22名と薬剤師
を引き継ぎ、事業を開始しました。

愛媛県内の「クミアイ家庭薬配置
事業」は、昭和63年度にスタート。

J A全農えひめが医薬品配置販売業
登録を行い、事業を進めてきました。
平成24年度は、県内10 J Aで配置戸
数は3万1,166戸、配置総金額
は2億1,570万円の実績となっ
ています。

しかしながら、「クミアイ配置家
庭薬事業」を取り巻く環境は、ネッ
ト販売・調剤薬局・ドラッグストア・
同業他社との競合激化、組合員の高
齢化等により取扱高が右肩下がりとな
るなど、近年急激に変化してきま
した。

こうした中、従来の事業形態では
新規配置先の確保等の事業拡大、配
置員の資質向上、およびコンプライ
アンス態勢の強化等に限界があるこ
とにより、J A全農えひめでは昨年
から関係組織等と事業のあり方につ
いて検討を開始。各組織との協議・
合意を受けて、専門性を有する広域
会社である協同薬品工業(株)に事業移
管を行うことにしたものです。

10月1日に開催した事業移管式に
は、J A全農えひめの諏訪玄県本部

長、協同薬品工業(株)の横澤泰雄代表
取締役社長など関係者35人が出席。
諏訪県本部長と横澤社長が事業移管
契約書に署名・調印後、握手を交わ
しました。

諏訪県本部長は「本日の再スター
トを機に、クミアイ家庭薬配置事業
のより一層のレベル向上、クミアイ
家庭薬の事業理念である『組合員の
くらしと健康をふれあいを守る掛け
橋』としての機能発揮に期待してい
ます」とあいさつ。横澤社長は「県
内22名の配置員とともに、組合員の
くらしと健康を守る、地域に貢献す
る家庭薬配置事業のなお一層の発展
につなげていきたい」とあいさつし
ました。

事業移管式後には、協同薬品工業
(株)愛媛営業所開所式が行われ、引
き続き愛媛営業所配置員となる22名
に横澤社長から辞令が交付されまし
た。

なお、協同薬品工業(株)愛媛営業所
は、J A全農えひめ生活センター内
に事務所を設置しています。

◇協同薬品工業(株)愛媛営業所

〒791-2192

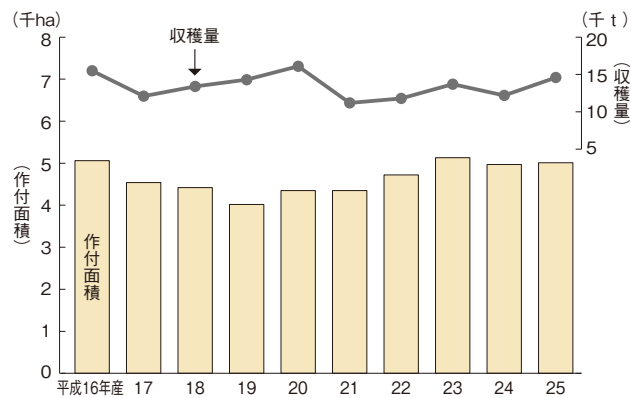
伊予郡砥部町拾町165

TEL 089-948-8851

統計BOX

作付面積は28年連続、収穫量は27年連続日本一！～愛媛県のはだか麦 —平成25年産麦類の作付面積及び収穫量(都府県)調査結果(概数)の概要から—

図1 はだか麦の作付面積及び収穫量(都府県・子実用)の推移



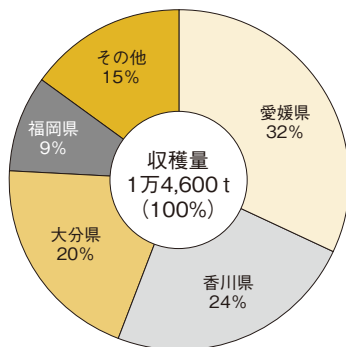
資料：農林水産省統計部『作物統計調査』

都府県の作付面積、 収穫量は増加

平成25年産はだか麦の都府県の作付面積(子実用)は5,010 haで、

も うすぐ麦まきの季節となりま
す。
麦は冬の寒さを耐えて成長し、麦
秋の5月、黄金色の穂を風になびか
せ、はだか麦が収穫期を迎えます。
これは、東予、中予を中心に見られ
る愛媛の風物詩です。今月は、愛媛
県の主要農産物であるはだか麦の生
産について見ていきたいと思いま
す。

図2 平成25年産はだか麦の都府県別
収穫量割合



資料：農林水産省統計部『作物統計調査』

愛媛県の収穫量は、 前年産に比べ増加

愛媛県の作付面積(子実用)は1、

前年産に比べて40 ha (1%) 増加
しました。10 a 当たり収量は291
kgで、前年産に比べて46 kg (19%)
上回り、収穫量は1万4,600 t
で、前年産に比べ2,400 t (20%)
増加しました(図1)。
都府県別にみた収穫量の割合は、
愛媛県が32%(4,610 t)を占め、
2位は香川県で24%(3,490 t)、
3位が大分県で20%(2,910 t)
となっており、上位3県で全国の
約8割を占めています(図2)。ま
た、作付面積の割合で見ると、愛媛
県が32%(1,610 ha)、大分県が
20%(1,020 ha)、香川県が18%
(920 ha)となっています。

610 haで、前年産に比べて増減は
ありませんでした。10 a 当たり収量
は286 kgで、前年産に比べて22 kg
(8%) 上回り、収穫量は4,610
tで前年産に比べ360 t (8%)
増加しました。
愛媛県におけるはだか麦の作付面
積は昭和61年産以降28年連続、収穫
量は昭和62年産以降27年連続全国第
1位となっています。

国内産麦は、平成12年から、は種
前に生産者と実需者との間で生産量
や取引価格について契約を行う民間
流通制度が導入され、平成18年6月
には政府無制限買入制度が廃止さ
れ、制度的にも完全に民間流通とな
りました。また、平成25年度麦の生
産者に対する支援は「経営所得安定
対策」により、主に畑作物の直接支
払交付金と水田活用直接支払交付金
により支援を行っています。

今後、はだか麦の生産拡大のため
には、実需者ニーズに対応した安定
供給体制を確立できるよう、排水対
策の徹底等による作柄の安定化、生
産性が高い優良品種の開発・普及、
基本技術の励行を含めた生産対策を
総合的に推進することが重要となっ
ています。

中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ



ワクワクドキドキ 第二の人生Ⅲ

3年目を迎えた農業は、長女の出産の為の里帰りと予想もしなかった私の帯状疱疹の中で始まりました。出産に備え、農作業の出来ることは早めに準備をしていましたが、田植え前の作業は休むわけにもいかず、痛みをこらえて久万高原の田畑へ出向いて行きました。振り返ってみると、就農前の単調だった生活から一変し、私にとって毎年大きな出来事と共に農作業がスタートしています。4年目となる来年の春は、新しく久万高原町の町中に出来る産直市「天空の郷さんさん」の開店と同時に始まる予定です。その工事は着々と進み、今から開店が楽しみです。

ものかと長女と頭を寄せ合って考えた末、小さな乳酸菌飲料の容器を使ってみることにしました。しかしそれは大きすぎて役にはたちません。次の日、仕事の帰りに100円均一の店で10個100円の指サックを買って帰り、少しハサミで短く調節して使ってみると、このために作られたかのように申し分ありません。男の子のオムツ交換でお困りの方はぜひお試しあれ。この後、孫が成長して母親に「くそばばあ」などと言った時には、母とばばがどんなに苦労したかを話してやらなくてはと楽しみにしています。

このように常日頃困ったことがあると何か良い解決策はないものかと考え、それを見つけていることにささやかな喜びを感じていますが、田の草取りに時間と労力を費やしていた時には、何日も田の中でただひたすら楽な方法はないものかと考えていました。そして苦肉の策で熊手に目を付けいろいろ試した結果、幅を狭めて裏返し稲の間の土をかき混ぜると稲は残り、雑草だ

河上 たずみ

TAZUMI KAWAKAMI

昭和24年7月8日、上浮穴郡小田町（現喜多郡内子町）生まれ。若い頃から農業に惹かれ、農家に嫁ぎたいとの思いはあったが、岡山の音楽大学を卒業から1年、教師をしていた夫と結婚。夫の定年までの35年間、音楽教室や個人レッスンでピアノ教師を続ける。3人の子どもの恵まれ子育てを楽しむ一方、25年間ソフトバレーボールで汗を流す。興味のあることをいろいろと体験したが、農業をあきらめきれず、15年ほど前にコミュニティ農園で農業デビューを果たす。本格的に農業をしたいという夢がさらに膨らみ、久万高原町役場を訪ねて何度も農地を紹介してもらおうが希望通りとはいかず、半ばあきらめかけていた頃に希望に見合う農地が見つかり、還暦を過ぎてついに農業の夢を実現する。現在は伊予郡松前町に在住し、車で約40分の上浮穴郡久万高原町の4反7畝の農地へ通い、松前町の農地1反も含め、農業を満喫中。2012年に農業1年目の体験記「女61歳初めての農業」（東京図書出版発行）を出版。書籍ご希望の方はTEL090-5912-2731（河上）まで。



▲スイカを収穫する河上さん。今年は甘くておいしいスイカがたくさんできました

けが浮き上がってくることに気がつき
ました。この方法で今までより早く草
取りを進めることができました。私に
とって大発見でしたが、田んぼの中で
熊手を振り回していると、隣の田のご
主人が「気に入った？」と呆れ顔で通
り過ぎていきました。何事も新しいこ
とは理解されにくいものです。
残された今の難題は畑の雑草と紫外
線それに害獣ですが、畑の雑草につい
ては、隣人に教わった杉の皮を粉碎し

たものを草が生える所に撒くという方
法を試しましたが、厚さが足りず草が
生えてしまったので、来年はもっと工
夫してみようと思っています。残り2
つの強敵は私が知恵を絞ったくらいで
は解決できそうもありません。特に害
獣の被害は大きく、個人で対策を施し
たくらいでは焼け石に水の感があり、
全国的な物心両面の損失を考えると、
大きな組織での抜本的な対策が必要な
状況にきているように思います。2年



▲いつもお世話になっているピーマン部会の役員さんたちと。右側後方が河上さん

目に植えたブドウの木も今年は実をつ
け来年は皆でブドウ狩りをもっとい
た矢先、袋をかけたまだ青いブドウは
猿らしき動物にあえなくもぎとられて
しまいました。ハクビシンに食い荒ら
されたトウモロコシ畑やイノシシに踏
み荒らされた水田を目の当たりにした
時の急激な生産意欲の減退は、なか
か立ち直れるものではありません。

この残念な状況とは反対に、今年力
を入れたスイカは順調に育ち、予想以
上の収穫が有りました。農園に着くと
真っ先にハウスへ入り、孫たちが喜ぶ
顔を思い浮かべながら花の受粉をし、
見て回るのが楽しみな日課になってい
ました。その後、できた物は親戚にも
配り喜んでもらいました。

私の「育てる」という本能にも近い
営みを充分満足させてくれる農業に
益々のめり込んでいく予感がします
が、これからもいろいろなことに挑戦
してワクワドキドキの農園生活を過
ごしたいと思っています。

これまでわずか2年半の経験です
が、その中で厳しい現実とも向き合う
ことになりました。中でも農業従事者
の高齢化はこの地域でも深刻な問題で
す。労働に見合った収入が確保されて
こそ若い後継者が育つのではないか
と、おばさんは1人畑でピーマンを収
穫しながらこの地の農業を案じてい
ます。

●平成25年度愛媛県園芸大会

踏み出そう！強い果樹産業への第一歩を！！

愛媛県とＪＡ全農えひめ、愛媛県果樹研究同志会、愛媛県女性果樹同志会は、10月16日、松山市の㈱えひめ飲料で、「踏み出そう！強い果樹産業への第一歩を！！」をテーマに、平成25年度愛媛県園芸大会を開きました。

大会には、生産者、ＪＡ・市場等から関係者約500人が出席。園芸功労者表彰、優良卸売会社の表彰と指定卸売会社73社への指定証交付、2013愛媛みかん大使の紹介などを行いました。

大会宣言では、高品質果実の安定供給とともに、優良品目・品種への転換や園地基盤整備などによる経営基盤の強化と競争力のある産地づくり、消費者ニーズに合った高品質果実を執念供給しさらなる愛媛ブランドの確立を目指すことを確認。①いつまでも天候のせいにはできないぞ！高品質づくりへの挑戦！、②チーム愛媛で計画出荷、③園地継承、産地を守れ、地域で取り組む基盤整備、④安全・安心はまじめな愛媛の心からーのスローガンを満場一致で採択しました。

また、ＪＡ全農えひめから25年産愛媛産柑橘の生産販売状況・消費宣伝計画、愛媛県から県果樹農業の現状と課題についてそれぞれ報告したほか、日本園芸農業協同組合連合会の高辻豊二技術主幹が、「かんきつ果実の消費動向と今後の生産・販売について」と題して、記念講演を行いました。

なお、平成25年度園芸功労者表彰受賞者は次の皆さん（敬称略・ＪＡ名の方は職員）。

【愛媛県農産園芸功労知事表彰】

▽宇佐美好正（西条市）▽松岡温（松山市）▽



▲知事表彰を受ける宇佐美さん

山岡建夫（松山市）▽堀本健二（内子町）▽樋田剛（八幡浜市）

【果樹産業振興桐野基金果樹産業功労者表彰】

▽藤木政弘（今治市）▽久保嘉男（伊予市）▽青井和子（松山市）▽玉川隆則（大洲市）▽柴田紳一郎（八幡浜市）▽和家康治（西予市）

【果樹産業振興全農愛媛県本部長賞】

▽森康弘（ＪＡおちいまばり）▽桑原強（ＪＡえひめ中央）▽阿部弘司（ＪＡえひめ中央）▽武田修治（ＪＡ愛媛たいき）▽野本康司（ＪＡにしうわ）▽坂本和則（ＪＡにしうわ）

●平成25年度愛媛県農林水産参観デー

ＪＡ全農えひめは展示や米食味分析等を実施

10月1日、2日の2日間、愛媛県農林水産研究所と同果樹研究センターで、研究成果を生産者や関係者に広く知ってもらおうと、「攻めの農林水産業 活かそう新技術・新品種」をテーマに「平成25年度愛媛県農林水産参観デー」が開催され、大勢の方で賑わいました。

ＪＡ全農えひめは、愛媛県農林水産研究所で肥料・農薬やハウス・農機等資材の紹介・展示、お米の食味分析を実施。果樹研究センターでは、協賛展として愛媛県くり研究同志会主催のくり品評会の出品果実と立木部門入賞ほ場のパネルを展示紹介のほか、かんきつ・落葉果樹の展示を行い、訪れた人の関心を集めていました。



●平成25年度「愛媛県くり品評会」

農林水産大臣賞に笹岡庄蔵さんと三ツ井久一さん

J A全農えひめと愛媛県くり研究同志会は、9月30日、平成25年度「愛媛県くり品評会」を開催し入賞者を決定しました。最高位の農林水産大臣賞は立木部門で笹岡庄蔵さん（J Aひがしうわ）、果実部門で三ツ井久一さん（J Aえひめ中央）が選ばれました。12月に表彰式が行われます。

品評会には立木部門に11点、果実部門に47点の出品があり、果実部門では県・同志会・J A全農えひめの関係者が、果実の形や玉揃いなどを審査し、各賞を決定しました。

出品果実は、10月1～2日に、県果樹研究センターで行われた農林参観デーで展示しました。

その他の受賞者は次の皆さんです（カッコ内はJ A名・敬称略）。

【立木部門】▽愛媛県知事賞＝増岡英明（愛媛たいき）▽全農愛媛県本部長賞＝林敏彦（ひがしうわ）▽くり研究同志会長賞＝山村信昭（えひめ中央）、長尾慶准（愛媛たいき）、福田小夜子（えひめ中央）

【果実部門】▽愛媛県知事賞＝和泉博泰（えひめ中央）▽全農愛媛県本部長賞＝川内律男（愛媛たいき）▽くり研究同志会長賞＝岡崎良一（ひ



がしうわ）、西本和明（愛媛たいき）、和田清光（えひめ中央）

●ひめライス50周年記念「第37回テレビ愛媛杯愛媛県ママさんバレーボール大会」

ひめライスがスポーツを通して健康づくりに貢献！

ひめライス50周年記念「第37回テレビ愛媛杯愛媛県ママさんバレーボール大会」が、9月21日、松山市の愛媛県武道館主道場で開かれ、久米クラブ（松山市）が初優勝を飾りました。

大会には県内35チームの中から東・中・南予の各地区予選を勝ち抜いた16チームが参加。競技は、9人制・トーナメント方式で行われ、選手たちは家族の声援を受けながら熱戦を展開しました。

㈱ひめライスは、スポーツ振興を通して健康で明るい家庭づくりに貢献しようと、毎年、同大会に協賛しています。3位以内の上位4チームのメンバー全員に新米無洗米『あらうまい愛媛県産コシヒカリ』と㈱えひめ飲料提供のポンジュースセットを、参加者全員にお米とひめライスグッズをプレゼントしました。



▲優勝した久米クラブのメンバー

会場では、元五輪日本代表の中西千枝子さんと楠原千秋さんを講師に迎え、「ちびっこバレーボール教室」も開かれました。

●愛媛県TAC・TAC管理者合同研修会

TAC活動の充実に意見を出し合い発表

J A全農えひめ営農振興課は、TAC活動の充実とレベルアップにつなげようと、9月27日、松山市のJ A愛媛別館で「愛媛県TAC・TAC管理者合同研修会」を開きました。

TACとは、出向く営農に取り組むJ A担当者の愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に活動しています。

研修会には7 J AのTAC・管理者など36人が参加。各J Aから今年度の取り組み方針・内容を報告したほか、管理者・年齢層別に4グループに分かれ、新規・後継者とJ Aの低利用者への対応をテーマに、各自の取り組み事例や理想像、今後のTAC活動の方向について意見を出し合い発表しました。

また、長崎県のJ A島原雲仙のTAC2名とTAC管理者の講演を基に、訪問する担い手との関係、事業に対する取り組み方法、課題と対策・解決手法などを学びました。

愛媛県内では8 J Aで62人がTACとして活



動中。全国大会で数多く表彰されるなど全国的にも高レベルの活動が評価されています。

J A全農えひめ営農振興課では、「TACは担い手との信頼関係づくりには有用であると考えている。さらにJ A内部で役員をはじめ横断的事業間連携を深め、J A事業と農業基盤を強化していくことが重要と考える。今後は検討会や研修会をさらに拡充して個別課題の解決や活動充実につなげたい」と話しています。

●(株)えひめ飲料が松山東交通安全協会にジュース贈呈 ポンジュースを飲んで交通安全を！

(株)えひめ飲料は、秋の全国交通安全運動の啓発活動に役立ててもらおうと、9月17日、「ポンジュース」(200ml紙パック) 1,000パックを松山東交通安全協会に贈りました。

贈呈したジュースは、9月23日に松山市大街道で開催された「松山東三代交通安全フェア」のほか、交通安全運動期間中に松山東警察署管内で実施される「交通茶屋」で、交通事故防止のチラシや反射板とともに配布されました。

松山市の同社本社で行われた贈呈式には、松山東警察署の森岡啓署長など関係者が出席。同社の高原茂社長が同協会の白石恒二会長に、「心ばかりではありますが、交通安全の活動にお役立てください」と商品を手渡しました。白石会



長は、「毎年いただいてありがたい。秋の交通安全運動で活用したい」と応じていました。

ジュースの贈呈は、同社が社会貢献活動の一環として、平成22年から毎年実施しています。

なんでもBOX

●平成25年度愛媛県総合畜産共進会 農林水産大臣賞に池田一成さん（JAえひめ南）

平成25年度愛媛県総合畜産共進会の第74回家畜改良共進会肉用種牛の部が、10月18日、西予市野村畜産総合振興センターで開かれ、農林水産大臣賞に未經産牛部門優等賞首席の池田一成さん（JAえひめ南）の出品牛「えいこ1」が選ばれました。

池田さんの「えいこ1」は、資質・品位を兼ね備えた立派な雌牛で、栄養度管理、調教等使用管理面の徹底などが高く評価されました。

その他の受賞者は次の皆さんです（敬称略・カッコ内はJA名）。

【経産牛部門】▽優等賞首席（農林水産省生産局長賞）＝角藤幸男（ひがしうわ）▽同次席＝越智章（周桑）▽1等賞首席＝岡山則雄（ひがしうわ）▽同次席＝山本三好（愛媛たいき）

【未經産牛部門】▽優等賞次席＝角藤幸男（ひがしうわ）▽1等賞首席＝大塚健三（同）▽同次席＝山岡造（愛媛たいき）

【子牛雌部門】▽優等賞首席（中国四国農政局長賞）＝山岡造（愛媛たいき）▽同次席＝山岡造（同）



▲大臣賞に輝いた池田さんと「えいこ1」

▽1等賞首席＝山本三好（愛媛たいき）▽同次席＝池田一成（えひめ南）▽同3席＝井関秀夫（ひがしうわ）

【子牛去勢部門】▽優等賞首席＝池田一成（えひめ南）▽同次席＝大森久光（ひがしうわ）▽1等賞首席＝谷平伸弘（えひめ南）▽同次席＝藤原輝明（ひがしうわ）▽同3席＝井上勉（同）

●愛媛県議会果樹農業振興議員連盟「果樹を語る会」

産地の取り組みと販売戦略について意見交換

愛媛県議会果樹農業振興議員連盟主催の「果樹を語る会」が、9月26日、松山市の国際ホテル松山で開かれました。

同会は、果樹同志会役員、県議会議員、県行政、JAなど関係者が出席。平成19年から毎年行われており今回が7回目です。

会では、柑橘の販売戦略と中晩柑の夏季出荷技術について県より情勢報告したほか、出席者が産地の取り組み状況や販売戦略について意見交換しました。

愛媛県果樹同志会からは6人が出席。基盤整備事業や補助事業の継続・拡大や要件の見直し、鳥獣害対策を始め、TPPへの対応などについて意見を求めるとともに要請しました。



●えひめほろよいフェスタ'13 愛媛の酒の消費拡大を！ JA全農えひめも応援！

10月1日、松山市堀之内の城山公園内管理広場で、愛媛県酒造協同組合の主催により県内の18蔵元が参加し、「えひめほろよいフェスタ'13」が開かれました。

このフェスタには、JA全農えひめも協賛。1,000人収容の会場には、大勢の方が参加。愛媛のお酒と一緒に、じゃこてんなど屋台コーナーの料理を味わい、ほろ酔い気分で“えひめの酒祭り”を楽しみました。

このイベントに協賛したJA全農えひめとグループ会社は、特設ステージで行われたお楽しみ抽選会に自慢の商品を提供し、今年もイベントを盛り上げました。



日本三大局地風の一つ、やまじ風で知られる宇摩地方では、地上に育つ農作物は甚大な被害を受けるため、里芋、山の芋などの根菜類が中心です。コロッケ、餃子、揚げ菓子、焼酎まで、里芋尽くしの加工品も各種並んでいます。霧深い山里の新宮茶、富郷茶、定評のあるハナシバ（シキビ）もどうぞ。また、金生ふれあい市は12月6日に新築リニューアルオープン、常設店舗へと生まれ変わります。

ジャジャうま市 ~JAうま~



インフォメーション

- TEL / 0896-23-3377
- 営 / 9:00 ~ 16:00
- 休 / 年末年始
- 住 / 四国中央市中庄町1684-4
- URL / <http://www.ja-uma.or.jp/>
- その他の店舗 / おいでや市、金生ふれあい市



▲ジャジャうま市



▲今が本番、里芋・伊予美人



▲里芋焼酎「やまじごろし」と山の芋焼酎「うま乃風」

あかがね市 四季菜広場 ~JA新居浜市~



インフォメーション

- TEL / 0897-31-0181
- 営 / 8:30 ~ 16:00
- 休 / 12月31日 ~ 1月4日、8月16日（盆）、10月17 ~ 18日（地方祭）
- 住 / 新居浜市田所町3-63
- URL / <http://www.ja-nihamashi.or.jp/>
- 「あかがね市」インショップ / コーブえひめ、コブ神郷、コブえひめコブ山根、コブえひめコブ金子、イオンモール新居浜店、パルティフジ本郷店、パルティフジ東田店

工業都市・新居浜市内の出荷会員約300人は兼業農家を中心です。一人一人の出荷する農産物は少量ながらも、普段つかいの身近な野菜から興味深い農産物まで多品目に各種集まっています。和菓子、おしゃれなスイーツ、調味料、石けんまで、手づくりアイデア加工品の数々や、鮮魚コーナーには本場の味覚「ぶぐざく」もあります。



▲甘さがきわだつ新居浜市大島産の白芋

◀春にはイチゴまつりを開催



▲あかがね市 四季菜広場

ときめき水都市 本店 ~JA西条~



インフォメーション

- TEL/0897-53-6771
- 営/8:30~18:00
- 休/1月1~3日、10月16~17日(地方祭)
- 住/西条市神拝字出口甲487-4
- URL / <http://www.ja-saijyo.or.jp/>
- その他の店舗/ときめき水都市 みのりちゃん市場、ときめき水都市 武丈店、ときめき水都市 新居浜店
- 「ときめき水都市」インショップ/コープえひめコープ中萩、コープえひめコープ今治、コープえひめコープ喜田村

城下町風情を醸すなまこ壁がひときわ目をひく農産物直売所は周辺でもいち早い平成7年にオープン。石鎚山からの伏流水「うちぬき」育ちの野菜には定評があり、地域ブランドの「絹かわなす」、「西条の七草」、ホウレンソウはその代表格です。今夏からはワンランク上の農産物「水都市ブランド」を展開。近々、ホウレンソウを麺に練り込んだ「ほうれん草うどん」も登場予定です。併設のこめっ娘パン「あぐり工房」では西条産の米と野菜・果物を使った焼きたて米粉パンがイートインできます。



▲大きいのに、きめが細かく柔らかくて甘い「絹かわなす」



▲米粉パンがスラリ



▲ときめき水都市 本店

おいでんや とうえん ~JA東予園芸~



インフォメーション

- TEL/0898-68-3600
- 営/土・日曜のみ7:00~15:00
※直販店舗は8:00~17:00
- 休/1月1~3日
- 住/西条市丹原町田野上方462
- URL / <http://www.toyoengei.jp/>
- その他の店舗/楽しみ市

果樹園芸が中心のJA東予園芸の直売所だけに、柑橘では進物にもおすすめの紅まどんな、柿では600gの大玉も珍しくない太天、その他、キウイフルーツ、梅、イチゴ、メロンなど季節の果実が盛りだくさんの品揃えです。直販店舗ではJA東予園芸のオリジナル加工品がいつでも求められ、お値打ち価格の豪華なバラの花が気持ちを豊かにしてくれます。



▲干し柿なのにやわらかい「あんぽ柿」



▲おいでんや とうえん



【広域map】



▲まるやか風味の梅干し「健紅梅」。お徳用から贈答用まで、各種あり



●9月号の特集は、J A えひめフレッシュフーズのブランド強化の内容がよくわかりました。直売所めぐりのときめき水都市は一度訪ねてみたいと思いました。クッキングコーナーは参考になります。レバトリーが広がります。

●J A の特徴のある運営内容をみたい。例えば○○J A は直売所に力を入れているとか、○○J A は組織力をアップして農業を担う人材を育成しているとか紹介してほしい。

(八幡浜市・二宮 光代さん)

●「ちびまる子ちゃんたまご」を買いました。カラーでちびまる子ちゃんがとても可愛らしく目に留まりました。また、生で食べても、ニラ玉、何でも美味しいです。オシャレです。

●5年くらい前から農業協同組合でニンニクの種を購入し植えています。立派なニンニクが収穫できます。我が家の食卓にニンニク料理は欠かせません。焼肉のたれを作って保存して、カレーなどの隠し味に入れています。長い間吊るしているとかスカスカになるので、今はバラバラにして冷凍保存しています。良い方法はないでしょうか？

(上島町・益崎 君枝さん)

●9月号ねっとわーくのみかん大使の記事を見て、もうこの時期が来たんだと思いました。1年って早いな。ひめライスのキャンペーンは応募したいと思いました。

(松山市・河原 信子さん)

●2013愛媛みかん大使に娘のお友だちがなっていて、うれしく思いました。1年間頑張っている、うれしく思いました。1年間頑張っている、うれしく思いました。

●今年台風がよくできました。台風は1年に何号くらいできるのでしょうか？ 気象について取り上げてほしい。

(八幡浜市・米花 佐智子さん)

●統計BOXでキウイフルーツの収穫量が27年連続日本一ってすごいことですね。でも高齢化の問題が深刻です。農業をする人がいなくてこれからどうなるのでしょうか？ 今年のように水不足や豪雨になると、収穫も不安定。収穫が少なくなれば、所得も少なくなるので悪循環。「日の丸みかん」のように知名度・ブランド力、付加価値をつけて売り出すのも大変です。今、女性部活動にはまっています。現在の会員は10名ちょっと。地域の行事にはほとんど参加。夏の盆踊りにはかき氷売り、冬の文化祭には喫茶コーナー。かき氷や手作りの手芸品の売り上げで、研修旅行(昨年は岡山。今年は大阪)は日帰りです。食事会をしたり、仲よく楽しく地域を盛り上げて頑張っています。何事も楽しいと思っていればHAPPY。仕事もそうなるといいんだけどね。

(西予市・安岡 光代さん)

●河上たずみさんのエッセー「ワクワクドキドキ第二の人生」。若い時の夢を還暦を過ぎ実現したことはすばらしいと思います。耕作放棄地の多い中で、農業をやることは、健康にもよく長寿の秘訣だと思っています。

(八幡浜市・平家 祥照さん)

●ふるさとエッセー。私の2年先輩の河上さん。ワクワクドキドキ第二の人生を楽しまれていらして、とてもうらやましく思います。人間一人では限られたことしかできないし、皆さんの協力あっての人生。そのとおりだと思います。私も定年になってから現在でも働いています。これからもみなさんの協力を受けながら仕事をやりたいと思います。何歳まで続けられるかわかりませんが、これからも頑張っていきたいです。老人パワーで頑張ります。

(松山市・松本 恵子さん)

●9月号の表紙の絵は彼岸花とはよく言ったもので、お彼岸の前にはどうだというほど咲き誇り、季節を感じさせてくれます(季節を感じる絵ですね)。9月19日の仲秋の名月。マンまるで見えるのは2010年代では最後だとか。きれいなまん丸いお月様を「今度見ることができるのかなあ」と思いつつ、空を見上げてました。9月16日の台風の影響はこの辺はあまり受けなかったけど、最近の竜巻とか昔はなかったようなことがよく起こります。もしもの時の対策など教えてください。

(西条市・武田 五月さん)

今月のクイズ

愛媛の里幸ブランドの名前は？
「伊予○○」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成25年12月16日(当日消印有効)

発表

「あぐり」1月号で発表します。

当選者発表

9月号の答えは「ちびまるこちゃん」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

安藤 満恵さん(西条市)	亀田 均さん(伊予市)
上甲 良枝さん(鬼北町)	黒田三恵子さん(西予市)
井上 喜美さん(八幡浜市)	石野 満さん(伊予市)
江戸 清子さん(東温市)	井原 愛美さん(西条市)
幸山 春美さん(内子町)	太田 真奈さん(八幡浜市)



編集後記

★収穫の秋、県内各地ではイベントが行われました。地域のイベントは、魅力あるものばかりで、工夫を凝らしています。先日、「スイーツコンテスト」がありました。柑橘や果実以外にも、野菜等を使ったスイーツの逸品が数多く出されました。「おいしい」だけでなく、商品が多くの人に認知され、農産物の良さをPRにつながっています。



今月の素材

鶏卵



1日の元気のエネルギー
朝たまごからはじめよう

指導／学校法人愛媛学園（愛媛調理製菓専門学校）大西 望先生

フラメンカエッグ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約243kcal
卵	4個
ジャガイモ	小2個
ピーマン	2個
タマネギ	1個
ウインナー	4本
ニンニク	2片
オリーブオイル	大さじ2
トマト水煮缶	400g
固形コンソメ	1個
塩	適量
コショウ	適量

〈作り方〉

- ① ジャガイモ、ピーマン、タマネギ、ウインナーは1cmの角切り。ニンニクはみじん切り。
- ② フライパンにオリーブオイルを熱し、ジャガイモを炒め、ニンニク・ピーマン・タマネギ・ウインナーを加えて炒め、トマト缶とコンソメを加えて煮、塩・コショウで味を調える。
- ③ 耐熱容器に②を入れ、くぼみを作り卵を割り入れ、180℃のオーブンで卵の白みに火が入るくらい、5分程度焼く。

味つけ半熟卵

〈材料・4人分〉	※1個あたり約80kcal
卵	8個
① ミリン	120cc
① 醤油	80cc
① 酒	100cc
① 砂糖	大さじ2
氷水	適量

〈作り方〉

- ① ①の調味料をひと煮立ちさせ、冷ます。
- ② 卵を鍋に入れ、かぶるくらいの水を入れて火にかけ、沸騰から約5分したら、氷水に落とす。
- ③ 卵の殻をむき、①にひと晩漬ける。（タッパーやジップロックなどを使うと便利）。

※ラーメンやご飯の上のにせていただく。

天津飯

〈材料・4人分〉	※1人あたり約370kcal
ご飯	4人分
① 卵	8個
① 塩	ふたつまみ
キノコ類	150g
カニカマ	40g
中華スープ	400cc
② 酒	大さじ1
② 砂糖	大さじ1
② 醤油	大さじ1
② オイスターソース	大さじ1
② 塩	少々
② コショウ	少々
片栗粉	大さじ2
水	大さじ2
ゴマ油	小さじ1
油	適量
パセリ	少々

〈作り方〉

- ① キノコ類は適当な長さに切り、大きいものはほぐしておく。カニカマは3cmの長さに切り、ほぐす。
- ② フライパンにゴマ油をしき、①を炒める。キノコ類がしんなりしたら、②を加えて煮立て、水溶き片栗粉を加えてとろみをつける。
- ③ 別のフライパンに油を熱し、①の溶き卵を一気に流し入れ、菜ばしで手早く全体にかき混ぜ、半熟の状態でご飯の上のせる。
- ④ ③の上に②のあんをかけ、みじん切りをしたパセリを散らす。

大切なあの方へ えひめ飲料 通販限定商品 POM 愛媛の柑橘ジュース詰め合わせ



小さなみかん箱風BOXでお届けします！

190g缶／24本入 3,500円（税抜）

送料全国一律500円

※5,000円以上ご購入で送料無料

5柑橘のおいしさ

飲みくらべ



愛媛で大切に育てられた、みかん、いよかん、ひめぼん、きよみ、河内晩柑の5種類を詰め合わせにしてお届けします。

大切な方へのご贈答や、ご家族での飲みくらべなど、いろいろな用途でお楽しみいただけます。

◆セット内容

完熟愛媛みかん	190g缶	8本
愛媛いよかん	190g缶	4本
愛媛ひめぼん	190g缶	4本
愛媛きよみ	190g缶	4本
愛媛河内晩柑	190g缶	4本



きれいな肌は、
きれいな服より
恋を实らせると思う。

ビタミンCでお肌に栄養!



愛を伝えるものって
バラの花以外にない
と思ってました。

オレンジも"愛のシンボル"



デートとか旅行とか
大切な日にかぎって
風邪はやってくる。

β-カロテンで免疫力UP!



温泉にマッサージ。
行きたい場所が
ぜんぶ癒し系。

ビタミンB群で疲労防止

カラダに「愛」を。
ココロに「愛」を。

愛媛のみかん

愛のオレンジロード

オレンジは"愛のシンボル"。「オレンジデー」までの記念日に贈り合って、大切な人との絆を深めませんか。

♡ みかんの日 11/3 12/3 恋するシーズンの到来 (旬の柑橘) 温州みかん、紅まどなど、POM 愛媛みかん旬ストリート100	♡ いい予感 1/14 恋愛成就のいいきざし (旬の柑橘) 伊予柑、ポンカン
♡ バレンタインデー 2/14 愛を届けよう (旬の柑橘) 伊予柑、ポンカン、はるみ、甘平	♡ ホワイトデー 3/14 愛に応えよう (旬の柑橘) デコポン、せとか
♡ オレンジデー 4/14 愛を深めよう (旬の柑橘) 清見タンゴール、カラマンダリン	

4.14 Orange day

ふたりでみかんを。

4/14(土) 4/15(日) 4/16(月)

詳しい内容はホームページをチェック!

愛のオレンジロード [検索](#)

JA全農えひめ